

| | | |
|---------------------------------------|--|--|
| 特別研究委員会名称 | 人にやさしい情報環境特別研究委員会 | |
| 新規、継続の種別 | 新規 | ○継続 |
| 申請者（委員長） 氏名、所属 | 田中直人 島根大学 | |
| 申請者 住所、電話、 メールアドレス | （職場・自宅） 〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町 10-1-1801 （職場・自宅） t-naoto@riko.shimane-u.ac.jp | |
| 委員長推薦委員と所属 | [推薦委員]（五十音順） 幹事：池田典弘（池田技術士事務所） 委員：安部信行（八戸工業大学） 委員：老田智美（大和大学） 委員：大森清博（兵庫県立福祉のまちづくり研究所） 委員：北川博巳（近畿大学） 委員：久保雅義（兵庫県公立芸術文化観光専門職大学） 委員：須田裕之（筑波技術大学名誉教授） 委員：柳原崇男（近畿大学） | |
| | オブザーバー委員を推薦する場合はその理由を記入すること。 | |
| | 推薦理由： | |
| 公募枠の予定数 | 5 名 | |
| 応募カテゴリー （該当以外のカテゴリー を削除してください。） | Ⅰ. スタートアップ型（予算上限 2 万円/年） ○Ⅱ. 研究・啓発展開型（予算上限 3 万円/年） Ⅲ. シンポ・出版展開型（予算上限 5 万円/年） | |
| 研究目的と 主な研究事業 | 災害・高齢化・技術の進展・ウィズコロナなど社会の変化に伴って、情報（人がある場所で他者に伝えたい情報）も一層多様化しています。それぞれの変化に対して、安全快適でわかりやすい移動環境の実現が求められる中、サインは基より情報環境全般として、今後どのように対応すべきか？改めてデザインに必要な要件は何か？何が今はできて、何が困難か？新たに創るにしても、社会としての受容性はあるか？など多くの課題が存在します。この新委員会では、「新たなサインや情報環境を提示しながら、必要な人間と環境の生理的・心理的特性と環境の空間特性を考慮した基礎的研究の成果をとり上げ、それらを反映した情報環境のデザイン手法の構築に向けて、議論しかつ発信できる場づくり」として、委員会での話題提供ならびに研究会を開催するなど活動していくことを目的とします。 | |
| 予算 | （初年度分） 【収入】 | |
| | 本部支援費 セミナー参加費 情報保障費（本部支援） | （初年度） 30,000 円 10,000 円×1 回 36,300 円(3 時間分) |
| | （次年度） 30,000 円 10,000 円×2 回 48,400 円(4 時間分) | |
| | （初年度分） （次年度分） | 計 計 |
| | | 76,300 円 98,400 円 |
| | ----- | |
| | 2 年間計 | |
| | | 174,700 円 |
| | 【支出】 | |
| | 会場費 講師謝金 | （初年度） 20,000 円×1 回 10,000 円 |
| | | （次年度） 20,000 円 10,000 円 |

| | | | |
|---------|--------|-----------------|-----------------|
| | 講師交通費 | 10,000 円 | 10,000 円 |
| | 情報保障費 | 36,300 円(3 時間分) | 48,400 円(4 時間分) |
| | 資料印刷費 | | 10,000 円 |
| | ----- | | |
| | (初年度分) | 計 | 76,300 円 |
| | (次年度分) | 計 | 98,400 円 |
| | ----- | | |
| | 2 年間計 | | 174,700 円 |
| その他特記事項 | | | |

（この用紙は、適宜伸縮したり複数ページにまたがったりしてもよい）

| | |
|---------------------------------------|--|
| 特別研究委員会名称 | ひとの感覚と環境デザイン特別研究委員会 |
| 新規、継続の種別 | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続 |
| 申請者（委員長） 氏名、所属 | 原 利明 鹿島建設（株）建築設計本部 |
| 申請者 住所、電話、 メールアドレス | （職場） 〒107-8502 東京都港区赤坂 6-5-30 TEL：03-6229-7554 e-mail： thara@kajima.com / toshinao@coda.ocn.ne.jp |
| 委員長推薦委員と所属 | 推薦委員 松田雄二氏（東京大学大学院工学系研究科） 伊藤納奈氏（産業技術総合研究所人間情報インタラクシオン研究部門） 太田篤史氏（中島龍興照明デザイン研究所） 船場ひさお氏（こどものための音環境デザイン） 矢野喜正氏（矢野住環境研究所） オブザーバー委員を推薦する場合はその理由を記入すること。 推薦理由： |
| 公募枠の予定数 | 2～3 名程度 |
| 応募カテゴリー （該当以外のカテゴリー を削除してください。） | I. スタートアップ型（予算上限2万円／年） |
| 研究目的と 主な研究事業 | 【目的】 これまでの多くの建築空間が視覚優位に設計されてきたが、私たちは、様々な感覚に訴えかける環境こそが多様な人にとって使いやすい環境であると考えている。即ち、ひとが空間や環境の中にちりばめられた情報を能動的に取りにいきやすい状況を如何に作るかが重要である。そこでそのような状況を作るため、施設整備や人的支援にとどまらず、社会システムをも見据えた環境全体をデザインすることを目指し、その計画手法を探ることを目的とする。 【主な事業】 上記の目的を遂行するため、以下の事業を計画する。 1年目は、メンバーによるプレストを行い、環境デザインに関する仮説を立案する。年に2回程度関係識者を招いた公開研究会を開催し、仮説の妥当性などを検証する。 2年目は、1年目で立案した仮説を更にブラッシュアップさせるための公開研究会を年に2回開催する。 |

| | |
|---------|---|
| 予算 | <p>【2023 年度】</p> <p><収入></p> <p>本部活動支援費：¥20,000</p> <p>公開研究会参加費：¥1,000×20名×2回＝¥40,000</p> <p>情報保障費（本部支援費）：¥48,400</p> <p>合計：¥108,400</p> <p><支出></p> <p>講師謝金：¥10,000×2回＝¥20,000</p> <p>会場費：¥20,000×2回＝¥40,000</p> <p>情報保障費：¥12,100×2時間×2回＝¥48,400</p> <p>合計：¥108,400</p> <p>【2024 年度】</p> <p>同上</p> <p>2年間収入合計：¥216,800</p> <p>2年間支出合計：¥216,800</p> |
| その他特記事項 | |
| | |

特別研究委員会申請用紙 記入上の注意

予算については大枠でなく、下記のように具体的に示してください。

（初年度分）

【収入】

| | | | |
|-------------|--------------|-----------|-----------|
| 本部支援費 | ** , ***円 | | |
| セミナー参加費 | ** , ***円×3回 | ** , ***円 | |
| 情報保障費（本部支援） | ** , ***円×1回 | ** , ***円 | ** , ***円 |

| | | |
|--------|---|-----------|
| （初年度分） | 計 | ** , ***円 |
|--------|---|-----------|

| | | |
|--------|---|-----------|
| （次年度分） | 計 | ** , ***円 |
|--------|---|-----------|

| | |
|------|-----------|
| 2年間計 | ** , ***円 |
|------|-----------|

【支出】

| | | | |
|----------------|--------------|-----------|-----------|
| 会場費 | ** , ***円×3回 | ** , ***円 | |
| 講師謝金 | ** , ***円×3回 | ** , ***円 | |
| 講師交通費 | ** , ***円×3回 | ** , ***円 | |
| 情報保障費（参加費より捻出） | ** , ***円×2回 | ** , ***円 | ** , ***円 |
| 情報保障費（本部より支給） | ** , ***円×1回 | ** , ***円 | ** , ***円 |
| 郵送、通信費 | | ** , ***円 | |
| 資料印刷費 | | ** , ***円 | |
| ホームページ維持費 | | ** , ***円 | |

| | | |
|--------|---|-----------|
| （初年度分） | 計 | ** , ***円 |
|--------|---|-----------|

| | | |
|--------|---|-----------|
| （次年度分） | 計 | ** , ***円 |
|--------|---|-----------|

| | |
|------|-----------|
| 2年間計 | ** , ***円 |
|------|-----------|

<参考>

要約筆記（チームウエストさんに依頼した場合）：¥11000/時間+準備費¥11000/時間（概ね開始前に30分必要となります。）

※東京手話通訳等派遣センターに依頼するともう少し高額となります。

手話（東京手話通訳など派遣センター）：例）¥11500/2時間×2名＝¥23000（2時間）

※3時間を超えると派遣人数も増えます。

保育費：例）¥2500～¥2700（税別）/時間・1人

ZOOM ウェビナー：5600円+消費税/1か月

日本福祉のまちづくり学会特別研究委員会（第6期）申請用紙 提出日：2023年 1月26日
 （この用紙は、適宜伸縮したり複数ページにまたがったりしてもよい）

| | |
|---------------------------------------|--|
| 特別研究委員会名称 | 子育て・子育てまちづくり特別研究委員会 |
| 新規、継続の種別 | 新規 継続 |
| 申請者（委員長） 氏名、所属 | 植田瑞昌、日本女子大学家政学部 |
| 申請者 住所、電話、 メールアドレス | （職場・自宅） 〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 03-5981-3452 uedami@fc.jwu.ac.jp |
| 委員長推薦委員と所属 | 推薦委員 植田瑞昌（日本女子大） 今岡芳子（香川高等専門学校） 大森宣暁（宇都宮大学地域デザイン科学部） 寺内義典（国土舘大学理工学部） 蓑輪裕子（聖徳大学短期大学部） 牟田聡子（日本大学理工学部） 長谷川万由美（宇都宮大学教育学部） 八藤後猛（日本大学理工学部） 山崎晋（日本大学理工学部） 中山恵（子育て支援S A Nの会 018） |
| | オブザーバー委員を推薦する場合はその理由を記入すること。 |
| | 推薦理由： |
| 公募枠の予定数 | 5名 |
| 応募カテゴリー （該当以外のカテゴリー を削除してください。） | I. スタートアップ型（予算上限2万円/年） II. 研究・啓発展開型（予算上限3万円/年） III. シンポ・出版展開型（予算上限5万円/年） |
| 研究目的と 主な研究事業 | 子育て・子育てまちづくり特別研究委員会では、すべての子どもの育ちと子育てをする人、支援する人、地域交流など、子どもとその親を取り巻く環境をまちづくりの視点で調査・研究を行ってきた。さらに、子育て・子育てバリアフリー教室の開催など啓発活動も行ってきた。活動を始めてから20年近く経過しているため、時代の変化とともに子育て・子育てまちづくりについて記録を残しつつ、今後のまちづくりの参考となる資料を作成する必要があると考えている。今期は、さらなる情報収集を行いつつ、今の時代に合わせた子育て環境について引き続き勉強会を行う。 ■主な研究事業： ・子育て・子育てまちづくり環境に関する資料の作成（書籍化たたき台） ・勉強会 年1から2回開催予定 （勉強会には子育て当事者が多く集える工夫を行う） ・セミナー 年1回開催 ・そのほか、見学会やアンケート調査など書籍化に向け追加情報を収集する予定 |

| | | | | |
|----------------|-------------------|----------------|-----------|-------|
| 予算 | (初年度分) | | | |
| | 【収入】 | | | |
| | 本部支援費 | 30,000 円 | | |
| | セミナー・勉強会参加費 | 500 円×20 人×2 回 | 20,000 円 | |
| | 情報保障費 (本部支援) | 23,000 円×1 回 | 23,000 円 | |
| | (初年度分) | 計 | 73,000 円 | |
| | (次年度分) | 計 | 73,000 円 | |
| | ----- | | | 2 年間計 |
| | | | 146,000 円 | |
| | 【支出】 | | | |
| 会場費 | 3,000 円×1 回 | 3,000 円 | | |
| 講師謝金 | 10,000 円×2 人 | 20,000 円 | | |
| 情報保障費 (本部より支給) | 23,000 円×1 回 | | | |
| 保育費 (参加費より捻出) | 3,000 円×3 時間×1 人 | 9,000 円 | | |
| 書籍化とりまとめアルバイト | 1,000 円×18 時間×1 人 | 18,000 円 | | |
| (初年度分) | 計 | 73,000 円 | | |
| (次年度分) | 計 | 73,000 円 | | |
| ----- | | | 2 年間計 | |
| | | 146,000 円 | | |
| その他特記事項 | | | | |

特別研究委員会申請用紙 記入上の注意

予算については大枠でなく、下記のように具体的に示してください。

| | | | |
|-----------------|--------------|----------|----------|
| (初年度分) | | | |
| 【収入】 | | | |
| 本部支援費 | ** ,***円 | | |
| セミナー参加費 | ** ,***円×3 回 | ** ,***円 | |
| 情報保障費 (本部支援) | ** ,***円×1 回 | ** ,***円 | |
| (初年度分) | 計 | ** ,***円 | |
| (次年度分) | 計 | ** ,***円 | |
| ----- | | | |
| 2 年間計 | | ** ,***円 | |
| 【支出】 | | | |
| 会場費 | ** ,***円×3 回 | ** ,***円 | |
| 講師謝金 | ** ,***円×3 回 | ** ,***円 | |
| 講師交通費 | ** ,***円×3 回 | ** ,***円 | |
| 情報保障費 (参加費より捻出) | ** ,***円×2 回 | ** ,***円 | ** ,***円 |
| 情報保障費 (本部より支給) | ** ,***円×1 回 | ** ,***円 | ** ,***円 |
| 郵送、通信費 | | ** ,***円 | |
| 資料印刷費 | | ** ,***円 | |
| ホームページ維持費 | | ** ,***円 | |
| ----- | | | |

(初年度分) 計 ** , ***円

(次年度分) 計 ** , ***円

2年間計 ** , ***円

<参考>

要約筆記 (チームウエストさんに依頼した場合) : ¥11000/時間+準備費¥11000/時間 (概ね開始前に30分必要となります。)

※東京手話通訳等派遣センターに依頼するともう少し高額となります。

手話 (東京手話通訳など派遣センター) : 例) ¥11500/2時間×2名 = ¥23000 (2時間)

※3時間を超えると派遣人数も増えます。

保育費 : 例) ¥2500~¥2700 (税別) /時間・1人

ZOOM ウェビナー : 5600円+消費税/1か月

| | |
|-----------------------------------|--|
| 特別研究委員会名称 | 障害のある人の権利意識に関する特別研究委員会 |
| 新規、継続の種別 | 新規 |
| 申請者（委員長） 氏名、所属 | 丹羽 菜生 中央大学研究開発機構 機構助教 |
| 申請者 住所、電話、 メールアドレス | （職場） 〒112-8551 文京区春日 1-13-27 中央大学研究開発機構 電話：03-3817-1609 n-niwa@tamacc.chuo-u.ac.jp |
| 委員長推薦委員と所属 | 丹羽 菜生（中央大学研究開発機構） 川内 美彦（東洋大学人間科学総合研究所） 岩本 一郎（北星学園大学） 菅原 麻衣子（東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科） 古瀬 敏（フリーランス） 武者 圭（UDNJ） 永元 真也（(株)アルメック VPI） 岩本 あき子（(株)アルメック VPI） 土橋 喜人（宇都宮大学地域デザイン科学部） 日野 晶子（株式会社 LIXIL） オブザーバー委員を推薦する場合はその理由を記入すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・尾上 浩二（DPI 日本会議）推薦理由：障害者運動の全国的なリーダーであり、内閣府障害者政策委員会委員の経験もあり、この分野に詳しい。 ・関哉 直人（五百蔵洋一法律事務所、弁護士）推薦理由：障害のある人の差別事例に詳しく、弁護士として法や制度について専門的立場からの意見を聞くことができる。 ・佐藤 聡（DPI 日本会議）推薦理由：障害者運動の全国的なリーダーであり、DPI 事務局長として現状で直面している諸課題に詳しい。 ・殿岡栄子（全国障害学生支援センター）推薦理由：全国障害学生支援センターの事務局長であり、長年学生支援を直接的担われてきた実績をお持ちであることから、専門的立場からの意見を聞くことができる。 |
| 公募枠の予定数 | 10名程度 |
| 応募カテゴリー （該当以外のカテゴリーを削除してください。） | Ⅱ. 研究・啓発展開型（予算上限3万円/年） |
| 研究目的と 主な研究事業 | <p>2006(H18)年に国連で制定された障害者権利条約(以下、権利条約)は、「障害の社会モデル」と共に、個別の障害に対応する「合理的配慮」という考え方を明確にした。権利条約二十四条では、教育に関する障害者の権利について述べられ、学問的及び社会的な発達を最大にする環境において、完全な包容という目標に合致する効果的で個別化された支援措置がとられることを確保することとされている。日本で権利条約が批准され9年が経つ現在、大学では障害学生の支援部署の設置などの様々な取り組みが行われている。</p> <p>障害学生を受け入れる大学側の取組に関しては、例えば日本学生支援機構や全国障害学生支援センター、文部科学省などは、障害がある学生への支援について、大学側への詳細な実態調査を行っている。また、筑波大学の研究者らによって、重度障害のある学生への支援のあり方を検討する為に、支援を必要とする学生の現状や支援ニーズに関する調査などを行なっている。但し、こうした既往研究は制度や仕組みに視点が置かれたものが中心となっており、障害当事者自身が大学生活の中で受ける支援をどのように捉えているかなど、障害がある学生側の視点で行われたものはない。</p> <p>本特別研究委員会では、障害者権利条約に従い、何らかの障害がある学生</p> |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|--|--------|---------|-------|---------|----------|-------|-------------|-------------|-------|--------|---|-------|--------|---|-------|------|---|--------|-----|--------|--------|------|------------|--------|-------|---|---|----------------|---|---|---------------|-------------|--------|---------|--------|------|-------|--------|------|--------|---|--------|
| | <p>が大学側から支援を受けることを、「障害学生の権利である」という視点で理解しているか、ということ調査するものである。</p> <p>本特別研究委員会の活動では、学生に対する「学ぶための支援」が、支援をする側、支援を受ける側の双方において、障害のある学生にとって「当たり前の権利」として理解されるような環境を作るためにどのような方策があるかを見いだしたいと考えている。</p> <p>まずは、支援を受ける側の視点として、何らかの障害のある学生が他の学生と同じように学ぶ為に、大学生活における障壁を取り除くのに必要な「学ぶための支援」を受けることを、本人がどのように捉え、考えているか、その支援を受けるまでに、これまでの小中高校生においてどのような過程があったのか、またそのことを障害のない学生はどう受け止めているかなど、支援を受けることに対する意識を明らかにする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>予算</p> | <p>以上の活動のため、ヒアリング（10名程度）と年1回程度の研究会の開催を行う。</p> <p>（初年度分）</p> <p>【収入】</p> <table border="1" data-bbox="459 808 1275 1171"> <tr> <td>本部支援費</td> <td>30,000円</td> <td>30000</td> </tr> <tr> <td>セミナー参加費</td> <td>500円×20人</td> <td>10000</td> </tr> <tr> <td>情報保障費（本部支援）</td> <td>11,000円×2時間</td> <td>22000</td> </tr> <tr> <td>（初年度分）</td> <td>計</td> <td>62000</td> </tr> <tr> <td>（次年度分）</td> <td>計</td> <td>62000</td> </tr> <tr> <td>2年間計</td> <td>計</td> <td>124000</td> </tr> </table> <p>【支出】</p> <table border="1" data-bbox="459 1279 1275 1733"> <tr> <td>会場費</td> <td>10000円</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>講師謝金</td> <td>20,000円×1名</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>講師交通費</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>情報保障費（参加費より捻出）</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>情報保障費（本部より支給）</td> <td>11,000円×2時間</td> <td>22,000</td> </tr> <tr> <td>通信費・印刷費</td> <td>5,000円</td> <td>5000</td> </tr> <tr> <td>資料印刷費</td> <td>5,000円</td> <td>5000</td> </tr> <tr> <td>（初年度分）</td> <td>計</td> <td>62,000</td> </tr> </table> | 本部支援費 | 30,000円 | 30000 | セミナー参加費 | 500円×20人 | 10000 | 情報保障費（本部支援） | 11,000円×2時間 | 22000 | （初年度分） | 計 | 62000 | （次年度分） | 計 | 62000 | 2年間計 | 計 | 124000 | 会場費 | 10000円 | 10,000 | 講師謝金 | 20,000円×1名 | 20,000 | 講師交通費 | 0 | 0 | 情報保障費（参加費より捻出） | 0 | 0 | 情報保障費（本部より支給） | 11,000円×2時間 | 22,000 | 通信費・印刷費 | 5,000円 | 5000 | 資料印刷費 | 5,000円 | 5000 | （初年度分） | 計 | 62,000 |
| 本部支援費 | 30,000円 | 30000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| セミナー参加費 | 500円×20人 | 10000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報保障費（本部支援） | 11,000円×2時間 | 22000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （初年度分） | 計 | 62000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （次年度分） | 計 | 62000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年間計 | 計 | 124000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場費 | 10000円 | 10,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講師謝金 | 20,000円×1名 | 20,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講師交通費 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報保障費（参加費より捻出） | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報保障費（本部より支給） | 11,000円×2時間 | 22,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通信費・印刷費 | 5,000円 | 5000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 資料印刷費 | 5,000円 | 5000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （初年度分） | 計 | 62,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>その他特記事項</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

日本福祉のまちづくり学会特別研究委員会（第五期）申請用紙 提出日：2023年2月2日
 （この用紙は、適宜伸縮したり複数ページにまたがったりしてもよい）

| | |
|---------------------------------------|---|
| 特別研究委員会名称 | 障害のある人たちの就労に関する特別研究委員会 |
| 新規、継続の種別 | 新規 <input type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> |
| 申請者（委員長） 氏名、所属 | ヒラヤマ アキヒト、バリアフリーアナリスト |
| 申請者 住所、電話、 メールアドレス | （職場・自宅） （愛知県名古屋市中区野跡4丁目1 みなと荘1棟1205号室） gifutry38@gmail.com |
| 委員長推薦委員と所属 | 推薦委員 池田 典弘 池田技術士事務所 磯部 友彦 中部大学 嶋田 喜昭 大同大学 野下 浩平 豊田ハンディキャブの会 樋口 恵一 大同大学 原 利明 鹿島建設 水谷 真 AJU 自立の家 わだちコンピュータハウス 三村 泰広 豊田都市交通研究所 山岡 俊一 豊田工業高等専門学校 オブザーバー委員を推薦する場合はその理由を記入すること。 推薦理由： |
| 公募枠の予定数 | 9名 |
| 応募カテゴリー （該当以外のカテゴリー を削除してください。） | I. スタートアップ型（予算上限2万円/年） II. 研究・啓発展開型（予算上限3万円/年） III. シンポ・出版展開型（予算上限5万円/年） |
| 研究目的と 主な研究事業 | （背景） 近年、障害者の雇用の促進等に関する法律（以下、障害者雇用促進法）により国家規模で「障害のある人たちの就労」の取り組みが加速している。社会で生きる上において、就労は所得の観点で重要であるが、社会とのつながりを紡ぐものとしても意義が大きい。障害のある人たちの就労には多くの課題が山積する。例えば、脳性まひ者は、年齢を重ねるごとに頸椎症、変形性股関節症といった二次障害に悩まされる方が多い。他にも筋ジストロフィーや脊椎性筋萎縮症なども年齢を重ねるごとに障害が重度化する。そのため、その時々での身体的な特性に応じた柔軟な働き方が望ましいと考えられるが、そのような変化を雇用者（発注者）が理解し、随時対応できるようなしくみが整っている「就労の場」は極めてまれであろう。また、生まれつき障害のある人たちは、社会経験が乏しくなることが多く、それによって培われる「社会で生きる」ためのスキルが十分に体得できないまま、「働く」環境に飛び出さざるを得ない方もいる。この議論は障害がある人の議論にとどまるものではなく、障害のない人たちも就労の場における相互扶助の考えを養う「機会」を大きく損なうといったことにも通ずる。加えて、労働者として自己実現という観点において、障害のある人たちの労働内容の変革を図ることの重要性は言うまでもない。形式的な「単純労働」から脱却し、専門的立場として、例えばまちづくりのような「知的生産性労働」に携わっていくための基礎として、「学びの場」の在り方としても重要である。障害のある人と障害のない人が相互に理解し合いながら、あるべき「就労の場」の在り方を検討できる仕組み作りを行なっていく意義は高いと考える。 本特別研究委員会は、前期（第5期）において、スタートアップとして、主に・障害のある人たちの就労に関する法令・計画・先進事例の収集、まちづくりを題材に知的生産性労働における障害のある人たちの関与・参画 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--|----------|-----|-----|-------|---------|---------|---------------------|---------|---------|-------------|---------|---------|--------|---|----------|---------------|---|----------|-------|--|--|------|----------|--|------|-----|-----|-----|---------|---------|------|---------|---------|-------|---------|---------|-------|---------|---------|-------|---------|---------|--------|---|----------|---------------|---|----------|-------|--|--|------|----------|--|
| | <p>の実態把握及び課題整理を実施した。前期の状況を踏まえ、本期（第6期）では、障害のある人とない人の相互理解を高める環境・体制の研究・あり方に加え、知的生産性労働（まちづくり）に携わる専門家育成のための教育体制の研究・あり方の検討を行うものである。</p> <p>（目的）</p> <p>（1）障害のある人が専門的立場からまちづくりのような知的生産性労働に携わっていただけるための「方法論」に関する研究をする。</p> <p>（2）障害のある人と障害のない人が相互に理解し合いながら働くことができる、「働く場」の在り方に関する研究をする。</p> <p>（主な研究事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の開催（年4回、オンサイト（対面+リモート同時開催） ・セミナーの開催（年1回） ・障害のある人とない人の相互理解を高める環境・体制の研究・あり方の検討（国連勧告を踏まえた一般企業受け入れの在り方（特例子会社の在り方）とくに、まちづくり関連企業を題材に検討） ・知的生産性労働（まちづくり）に携わる専門家育成のための教育体制の研究・あり方の検討（とくに、職業訓練、インターン等の観点から） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>予算</p> | <table border="0"> <tr> <td>【収入】</td> <td>初年度</td> <td>次年度</td> </tr> <tr> <td>本部支援費</td> <td>30,000円</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>セミナー参加費(1,000円×40名)</td> <td>40,000円</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>情報保障費（本部支援）</td> <td>36,300円</td> <td>36,300円</td> </tr> <tr> <td>（初年度分）</td> <td>計</td> <td>106,300円</td> </tr> <tr> <td>（次年度分：初年度と同様）</td> <td>計</td> <td>106,300円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">-----</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2年間計</td> <td colspan="2">212,600円</td> </tr> <tr> <td>【支出】</td> <td>初年度</td> <td>次年度</td> </tr> <tr> <td>会場費</td> <td>20,000円</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>講師謝金</td> <td>20,000円</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>講師交通費</td> <td>20,000円</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>情報保障費</td> <td>36,300円</td> <td>36,300円</td> </tr> <tr> <td>資料印刷費</td> <td>10,000円</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>（初年度分）</td> <td>計</td> <td>106,300円</td> </tr> <tr> <td>（次年度分：初年度と同様）</td> <td>計</td> <td>106,300円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">-----</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2年間計</td> <td colspan="2">212,600円</td> </tr> </table> | 【収入】 | 初年度 | 次年度 | 本部支援費 | 30,000円 | 30,000円 | セミナー参加費(1,000円×40名) | 40,000円 | 40,000円 | 情報保障費（本部支援） | 36,300円 | 36,300円 | （初年度分） | 計 | 106,300円 | （次年度分：初年度と同様） | 計 | 106,300円 | ----- | | | 2年間計 | 212,600円 | | 【支出】 | 初年度 | 次年度 | 会場費 | 20,000円 | 20,000円 | 講師謝金 | 20,000円 | 20,000円 | 講師交通費 | 20,000円 | 20,000円 | 情報保障費 | 36,300円 | 36,300円 | 資料印刷費 | 10,000円 | 10,000円 | （初年度分） | 計 | 106,300円 | （次年度分：初年度と同様） | 計 | 106,300円 | ----- | | | 2年間計 | 212,600円 | |
| 【収入】 | 初年度 | 次年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本部支援費 | 30,000円 | 30,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| セミナー参加費(1,000円×40名) | 40,000円 | 40,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報保障費（本部支援） | 36,300円 | 36,300円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （初年度分） | 計 | 106,300円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （次年度分：初年度と同様） | 計 | 106,300円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ----- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年間計 | 212,600円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【支出】 | 初年度 | 次年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場費 | 20,000円 | 20,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講師謝金 | 20,000円 | 20,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講師交通費 | 20,000円 | 20,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報保障費 | 36,300円 | 36,300円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 資料印刷費 | 10,000円 | 10,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （初年度分） | 計 | 106,300円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （次年度分：初年度と同様） | 計 | 106,300円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ----- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年間計 | 212,600円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>その他特記事項</p> | <p>なし</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

日本福祉のまちづくり学会特別研究委員会（第6期）申請用紙 提出日：2023年 月 日
 （この用紙は、適宜伸縮したり複数ページにまたがったりしてもよい）

| | |
|---------------------------------------|---|
| 特別研究委員会名称 | アートと福祉のまちづくり |
| 新規、継続の種別 | 新規 |
| 申請者（委員長） 氏名、所属 | 宇都宮大学共同教育学部 長谷川万由美 |
| 申請者 住所、電話、 メールアドレス | 職場 〒321-8505 宇都宮市峰町 350 mayumi.mercury@gmail.com |
| 委員長推薦委員と所属 | 推薦委員 小山聡子(日本女子大学人間社会学部社会福祉学科) 田中賢 (日本大学理工学部まちづくり工学科) オブザーバー委員 ※会員外 |
| | オブザーバー委員を推薦する場合はその理由を記入すること。 推薦理由： |
| 公募枠の予定数 | 10 名 |
| 応募カテゴリー (該当以外のカテゴリー を削除してください。) | I. スタートアップ型 (予算上限 2 万円/年) |
| 研究目的と 主な研究事業 | <p>障害者による文化芸術活動の推進に関する「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」の施行(平成 30 年 6 月)などに見られるように従来は表現者としてメインストリームとは考えられてこなかった障害者や高齢者などによる表現活動を社会がバックアップする傾向が顕著になってきている。</p> <p>一方で、芸術を鑑賞する点においても令和 4 年の博物館法の改正の視点の一つとして、施設や展示手法のバリアフリー化が盛り込まれるなど、鑑賞のユニバーサルデザインが模索されている。</p> <p>本委員会では、このような表現者、鑑賞者双方の立場でのアートのバリアフリー・ユニバーサルデザイン化の現状を把握するとともに、障害当事者による芸術活動への主体的参加がもたらす社会変革の可能性について、福祉のまちづくりの観点から、考えることを目的とする。</p> |
| 予算 | <p>(初年度分)</p> <p>【収入】 本部支援費 20,000 円 セミナー・勉強会参加費 500 円×20 人×2 回 20,000 円 情報保障費(本部支援) 23,000 円×1 回 23,000 円</p> <p>(初年度分) 計 63,000 円 (次年度分) 計 63,000 円</p> <p>----- 2 年間計 126,000 円</p> <p>【支出】 講師謝金 10,000 円×4 人 40,000 円 情報保障費(本部より支給) 23,000 円×1 回</p> <p>-----</p> <p>(初年度分) 計 63,000 円 (次年度分) 計 63,000 円</p> <p>----- 2 年間計 126,000 円</p> |
| その他特記事項 | |

特別研究委員会申請用紙 記入上の注意

予算については大枠でなく、下記のように具体的に示してください。

(初年度分)

【収入】

| | | | |
|--------------|-------------|----------|----------|
| 本部支援費 | ** ,***円 | | |
| セミナー参加費 | ** ,***円×3回 | ** ,***円 | |
| 情報保障費 (本部支援) | ** ,***円×1回 | | ** ,***円 |

(初年度分) 計 ** ,***円

(次年度分) 計 ** ,***円

2年間計 ** ,***円

【支出】

| | | | |
|-----------------|-------------|----------|----------|
| 会場費 | ** ,***円×3回 | ** ,***円 | |
| 講師謝金 | ** ,***円×3回 | ** ,***円 | |
| 講師交通費 | ** ,***円×3回 | ** ,***円 | |
| 情報保障費 (参加費より捻出) | ** ,***円×2回 | | ** ,***円 |
| 情報保障費 (本部より支給) | ** ,***円×1回 | | ** ,***円 |
| 郵送、通信費 | | ** ,***円 | |
| 資料印刷費 | | ** ,***円 | |
| ホームページ維持費 | | ** ,***円 | |

(初年度分) 計 ** ,***円

(次年度分) 計 ** ,***円

2年間計 ** ,***円

<参考>

要約筆記 (チームウエストさんに依頼した場合) : ¥11000/時間+準備費¥11000/時間 (概ね開始前に30分必要となります。)

※東京手話通訳等派遣センターに依頼するともう少し高額となります。

手話 (東京手話通訳など派遣センター) : 例) ¥11500/2時間×2名=¥23000 (2時間)

※3時間を超えると派遣人数も増えます。

保育費 : 例) ¥2500~¥2700 (税別) /時間・1人

ZOOM ウェビナー : 5600円+消費税/1か月

日本福祉のまちづくり学会特別研究委員会（第6期）申請用紙 提出日：2023年 月 日
 （この用紙は、適宜伸縮したり複数ページにまたがったりしてもよい）

| | |
|---------------------------------------|--|
| 特別研究委員会名称 | 文化財・世界遺産のアクセシビリティに関する特別研究委員会 |
| 新規、継続の種別 | 新規 継続 |
| 申請者（委員長） 氏名、所属 | 丹羽太一 東京大学経済学研究科 REDDY |
| 申請者 住所、電話、 メールアドレス | （自宅） 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-17-13 03-5272-3107 niwa-t@e.u-tokyo.ac.jp |
| 委員長推薦委員と所属 | 推薦委員 大原一興（横浜国立大学大学院） 古瀬敏（静岡文化芸術大学名誉教授） 須田裕之（筑波技術大学名誉教授） 関根千佳（同志社大学大学院） 高橋儀平（東洋大学名誉教授） 高橋未樹子（㈱コマニー） 田中直人（島根大学） 橋口亜希子（橋口亜希子個人事務所） 橋本彼路子（長崎総合科学大学） オブザーバー委員 ※会員外 |
| | オブザーバー委員を推薦する場合はその理由を記入すること。 |
| | 推薦理由： |
| 公募枠の予定数 | 5 名 |
| 応募カテゴリー （該当以外のカテゴリー を削除してください。） | I. スタートアップ型（予算上限2万円/年） II. 研究・啓発展開型（予算上限3万円/年） III. シンポ・出版展開型（予算上限5万円/年） |
| 研究目的と 主な研究事業 | 2020 東京大会の開催、3年間のコロナ禍を経て、高齢世代の観光行動の活発化、海外からの旅行者の増大も以前より増して注目を集める中、日本における文化財・世界遺産のハード・ソフトにおいても、さらなる社会環境のアクセシビリティの整備と充実が求められている。 本研究会では、国内外の現地調査を基に「文化財・世界遺産のアクセシビリティ」について、各地の状況を調査し、文化財・世界遺産のアクセシビリティの考え方と具体的手法について研究する。特に今期は、文化財自体のアクセシビリティはもとより、文化財を軸にした観光地としての地域におけるアクセシビリティにも焦点を当て、まちづくりとしての地域のアクセシビリティの重要性を考え、いくつかの地域でその実現に寄与していく。 併せて、文化財、まちづくりのアクセシビリティ事例集を各年度にとりまとめる。 下記①～③の内容を協議又は取りまとめるため各四半期程度で研究会を開催する。また研究成果を公表する公開シンポジウムを開催する。 ① 文化財、世界遺産のアクセシビリティの考え方及び具体的整備手法を研究する。 ② 地域における文化財活用の事例について、アクセシビリティの整備に関して関連自治体や福祉関係者などとも連携してその実現を目指す。 ③ 文化財、まちづくりに関する各地のアクセシビリティ事例を収集し、文化財アクセシビリティ 2023/2024 としてとりまとめる。 ④ 適宜海外事例を収集する |

| | | |
|----------------|-------------|------------|
| 予算 | (初年度分) | |
| | 【収入】 | |
| | 本部支援費 | 20,000 円 |
| | セミナー参加費 | 10,000 円 |
| | (初年度分) | 計 30,000 円 |
| | (次年度分) | 計 30,000 円 |
| | ----- | |
| | 2年間計 | 60,000 円 |
| | 【支出】 | |
| | 講師謝金交通費込み | 10,000 円 |
| 情報保障費 (本部より支給) | 10,000 円 | |
| 消耗品費 | 3,000 円 | |
| 会議費 (会場費等) | 7,000 円 | |
| ----- | | |
| (初年度分) | 計 30,000 円 | |
| (次年度分) | 計 30,000 円 | |
| ----- | | |
| 2年間計 | 60,000 円 | |
| その他特記事項 | | |

特別研究委員会申請用紙 記入上の注意

予算については大枠でなく、下記のように具体的に示してください。

| | | | |
|-----------------|---------------|-----------|-----------|
| (初年度分) | | | |
| 【収入】 | | | |
| 本部支援費 | ** , ***円 | | |
| セミナー参加費 | ** , ***円×3 回 | ** , ***円 | |
| 情報保障費 (本部支援) | ** , ***円×1 回 | ** , ***円 | ** , ***円 |
| (初年度分) | 計 | ** , ***円 | |
| (次年度分) | 計 | ** , ***円 | |
| ----- | | | |
| 2年間計 | | ** , ***円 | |
| 【支出】 | | | |
| 会場費 | ** , ***円×3 回 | ** , ***円 | |
| 講師謝金 | ** , ***円×3 回 | ** , ***円 | |
| 講師交通費 | ** , ***円×3 回 | ** , ***円 | |
| 情報保障費 (参加費より捻出) | ** , ***円×2 回 | ** , ***円 | ** , ***円 |
| 情報保障費 (本部より支給) | ** , ***円×1 回 | ** , ***円 | ** , ***円 |
| 郵送、通信費 | | ** , ***円 | |
| 資料印刷費 | | ** , ***円 | |
| ホームページ維持費 | | ** , ***円 | |
| ----- | | | |
| (初年度分) | 計 | ** , ***円 | |
| (次年度分) | 計 | ** , ***円 | |

2年間計

** , ***円

<参考>

要約筆記 (チームウエストさんに依頼した場合) : ¥11000/時間+準備費¥11000/時間 (概ね開始前に30分必要となります。)

※東京手話通訳等派遣センターに依頼するともう少し高額となります。

手話 (東京手話通訳など派遣センター) : 例) ¥11500/2時間×2名=¥23000 (2時間)

※3時間を超えると派遣人数も増えます。

保育費 : 例) ¥2500~¥2700 (税別) /時間・1人

ZOOM ウェビナー : 5600円+消費税/1か月

日本福祉のまちづくり学会特別研究委員会（第6期）申請用紙 提出日：2023年2月3日
 （この用紙は、適宜伸縮したり複数ページにまたがったりしてもよい）

| | |
|-----------------------|---|
| 特別研究委員会名称 | 市民参加のデザイン特別研究委員会 |
| 新規、継続の種別 | 継続 |
| 申請者（委員長） 氏名、所属 | 委員長：長野博一・高崎経済大学 （専門：都市政策・都市計画） |
| 申請者 住所、電話、 メールアドレス | （職場） 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 1300 番地 027-344-7885（研究室） / nagano@tcue.ac.jp |
| 委員長推薦委員と所属 | 推薦委員 <ul style="list-style-type: none"> ・別府知哉 八千代エンジニアリング㈱ <副委員長>（まちづくり） ・江守 央 日本大学（3D都市モデル、土木デザイン） ・小柳達也 新潟青陵大学（社会福祉、福祉政策） ・北野知裕 浜銀総合研究所（建築計画、まちづくり） ・庄子美優紀 八千代エンジニアリング㈱（交通計画、UD） ・杉崎和久 法政大学（都市計画、まちづくり） ・田中絵里子 日本大学（地理学、観光学） ・原 利明 鹿島建設㈱（空間認知、UD、ロービジョン） オブザーバー委員を推薦する場合はその理由を記入すること。 推薦理由： |
| 公募枠の予定数 | 若干名 |
| 応募カテゴリー | Ⅱ. 研究・啓発展開型（予算上限3万円/年） |
| 研究目的と 主な研究事業 | 本研究委員会では、市民参加の具体的事例を用いて参加のデザイン手法を研究し、福祉のまちづくりにおける市民参加の多様性と社会環境づくりへ向けた問題提起を行なっていきます。また、バリアフリーマスタープラン制度を踏まえたプランニング技術向上のための支援手法を深めると同時に、バリアフリーマップのUXデザイン手法を国交省と連携し、研究を深めていきます。 (1) 公開研究会の開催 年1～2回程度 (2) 各種勉強会の実施 年数回程度 (3) バリアフリーマスタープラン・基本構想の事例検証と策定支援 (4) 他委員会、および他学会の専門委員会とも随時連携 (5) 市民参加・参画等の事例集作成、基本構想等策定支援ツール作成等 |
| 予算 | 【収入】 本部支援費 0円 科研費充当 30,000円 セミナー参加費 27,000円×1回（単価1,000円×27名で計算） 情報保障費（本部支援） 手話通訳：23,000円×1回 ※保育7,000円<2人分を概算で>（参加費から捻出予定） （初年度分） 計 80,000円 （次年度分） 計 80,000円 ----- 2年間計 160,000円 【支出】 <2023年度> ・講師謝金 10,000円×1人×1回（科研費充当） 10,000円 ・講師交通費 10,000円×1人×1回（科研費充当） 10,000円 ・会場費 10,000円×1回（参加費から捻出） 10,000円 |

| | |
|---------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・資料印刷費等（参加費から捻出） 10,000 円 ・勉強会開催、通信費等（科研費充当） 10,000 円 ・情報保障費（本部支給） 23,000 円×1 回 23,000 円 ・保育費（参加費から捻出） 7,000 円 （保育費・1 人・税込み 3500 円強と仮定して 2 名分を計上） <hr/> <p>(2023 年度分) 計 80,000 円</p> <p><2024 年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金 10,000 円×1 人×1 回（科研費充当） 10,000 円 ・講師交通費 10,000 円×1 人×1 回（科研費充当） 10,000 円 ・会場費 10,000 円×1 回（参加費から捻出） 10,000 円 ・資料印刷費等（参加費から捻出） 10,000 円 ・勉強会開催、通信費等（科研費充当） 10,000 円 ・情報保障費（本部支給） 23,000 円×1 回 23,000 円 ・保育費（参加費から捻出） 7,000 円 （保育費・1 人・税込み 3500 円強と仮定して 2 名分を計上） <hr/> <p>(2023 年度分) 計 80,000 円</p> <hr/> <p>(2024 年度分) 計 80,000 円</p> <p>※研究会に係る経費は、申請者の外部資金を充当します。学会本部からは情報保障に係る費用のみ、今期は申請いたします。</p> |
| その他特記事項 | <p>活動場所：関東（都内及び近郊）</p> <p>特 色：学会員ではない専門家、国の担当官等を招いての公開研究会や、先進自治体の取組み視察、積極的に活動している市民組織・任意団体等を招いてのイベントなどを実施予定。学際的に取り組む</p> <p>その他：他の特別研究委員会（地域福祉のモビリティデザイン委員会）との連携を密に図る（公開研究会の共催など）</p> <p>委員構成：推薦委員以外の委員は公募による（若干名）。コアメンバー含め学際的な人材チームを編成</p> <p>予 定：2 カ年の予定は下記のとおり</p> <p>(2023 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開研究会：年に 1～2 回程度を予定 ・制作物（事例集）について、まとめ作業を随時行なう <p>(2024 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開研究会：年に 1～2 回程度を予定 ・制作物（事例集または書物）について、まとめ作業を随時行なう <p>※随時メーリングリストまたはオンラインミーティングにより情報共有・情報交換を進め、議論等を行う</p> <p>※コアメンバーは個々に取組み事例等を持っているので、それらを中心に議論を展開、報告書のまとめへと移行</p> |

(この用紙は、適宜伸縮したり複数ページにまたがったりしてもよい)

| | |
|---------------------------------------|---|
| 特別研究委員会名称 | 地域福祉のモビリティサービス特別研究委員会 |
| 新規、継続の種別 | 新規 継続 |
| 申請者（委員長） 氏名、所属 | 吉田 樹（委員長予定者） 福島大学 経済経営学類 |
| 申請者 住所、電話、 メールアドレス | (職場・自宅) 〒960-1296 福島市金谷川一番地 メール： e127@ipc.fukushima-u.ac.jp |
| 委員長推薦委員と所属 | 推薦委員 猪井 博登（富山大）、長野 博一（高崎経済大）、福本 雅之（合同会社おでかけカンパニー）、森口 将之（株式会社モビリティ） オブザーバー委員を推薦する場合はその理由を記入すること。 推薦理由：(該当なし) |
| 公募枠の予定数 | 10 名 |
| 応募カテゴリー (該当以外のカテゴリー を削除してください。) | Ⅱ. 研究・啓発展開型 (予算上限3万円/年) |
| 研究目的と 主な研究事業 | <u>研究目的</u> 運転免許を保有する高齢者が増加するなか、自家用車への依存度を下げつつ、移動の自由度を高める取り組みが求められている。 近年では、情報通信技術を活用したモビリティサービスへの期待が高まり、オンデマンド交通の導入やMaaS (Mobility as a Service) 構築に向けた取り組みが増えているが、実証実験に終始し、地域福祉の向上に結びついたとは言い難い事例が散見される。こうした現状を打開するためには、ユーザビリティを担保しつつも、持続的なサービス提供を可能にするための「しくみ」を各地に根付かせる必要がある。 本特別研究委員会は、情報通信技術を活用したモビリティサービスを都市や地域がどう受け止めるべきかに着目しながら、在来の公共交通や福祉交通（スペシャル・トランスポート・サービス）との有機的な連携を図るための方法論を臨床的に検討するとともに、その成果を全国各地に発信することを活動目的とする。 <u>主な活動予定</u> (1) 定例研究会の開催（年2回程度。オンライン） (2) 情報通信技術を活用したモビリティサービスの実証フィールドの伴走支援や参与観察（委員が関与するフィールドを事例とした討議） (3) メンバーの研究成果や実践知をアウトリーチするセミナー、全国大会における研究討論会の開催 |
| 予算 | (初年度分) 【収入】 本部支援費 0 円 情報保障費（本部支援） 20,000 円 外部資金からの充当 140,000 円（代表者の研究費等） (初年度分) 計 160,000 円 (次年度分) 計 160,000 円（初年度と同額を見込む） ----- 2年間計 320,000 円 【支出】 会場費 50,000 円×1回 50,000 円 講師謝金 10,000 円×2回 20,000 円 講師交通費 20,000 円×2回 40,000 円 情報保障費（本部より支給） |

| | | |
|---------|---|-----------|
| | 30,200 円×1 回 | 32,000 円 |
| | 郵送、通信費 (Zoom ウェビナー・郵券) | 8,000 円 |
| | 資料印刷費 | 10,000 円 |
| | ----- | |
| | (初年度分) 計 | 160,000 円 |
| | (次年度分) 計 | 160,000 円 |
| | ----- | |
| | 2 年間計 | 320,000 円 |
| その他特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・学会からの財政的支援は、専ら情報保障にあて、それ以外の経費については、外部資金（代表者の研究費等）で支弁する予定です。 ・推薦委員に委員長を補佐する役割をお願いしており、活動の活性化に結び付けたいと考えております。 | |

日本福祉のまちづくり学会特別研究委員会（第6期）申請用紙 提出日：2023年2月3日
 （この用紙は、適宜伸縮したり複数ページにまたがったりしてもよい）

| | |
|-----------------------------------|--|
| 特別研究委員会名称 | 共生DX特別研究委員会 （「ICTによる行動支援」からの名称変更） |
| 新規、継続の種別 | 新規 継続 |
| 申請者（委員長） 氏名、所属 | （株）袖縁 友枝 敦、代表取締役 |
| 申請者 住所、電話、 メールアドレス | （職場・自宅） 住 所：〒104-0054 東京都中央区勝どき 6-3-2-3309 電 話：080-5047-1060 メアド：nanameneko@sode-en.net |
| 委員長推薦委員と所属 | 推薦委員：9名（五十音順） 秋山哲男（中央大学）、織田友理子（WheeLog）、神田信（日視蓮）、鈴木克典（北星学園大学）、須田裕之（筑波技術大学）、高橋徹（エコモ財団）、谷田光一（弱視者ネット）、長嶺由衣子（東京医科歯科大学）、望月優（アメディア） |
| | オブザーバー委員を推薦する場合はその理由を記入すること。 |
| | 推薦理由： |
| 公募枠の予定数 | 10名 |
| 応募カテゴリー （該当以外のカテゴリーを削除してください。） | Ⅱ. 研究・啓発展開型（予算上限3万円／年） |

| | |
|-------------------------|--|
| <p>研究目的と 主な研究事業</p> | <p>【目的】 前期スタートアップ型研究では、既存のバリアフリー情報提供の現状について、学識者、情報提供の運営者、システム開発者、ユーザーなどと共有し、議論を重ねた。今期は、前期からの「当事者目線、当事者のQOL(Quality Of Life)向上の観点で俯瞰、捉え直し、個々のソリューションの総和を超えた価値創造を目指す」を引継ぎ、来期はフィールドワークを重視した実践的実証的な研究・啓発展開型に歩を進める。 またフィールドワーク重視に伴い、委員会の名称を、自治体や一般の方々が想像し易いと思われる「共生DX」（デジタル技術を活用した共生社会実現の促進）に変更する。 なお、来季も前期同様「ICTによる行動支援」すなわち公共交通機関およびラストワンマイルの徒歩圏での「移動」とゼロマイルの現地での「活動&回遊」を加えた『お出かけ』に焦点をあてる。</p> <p>【事業】</p> <p>(1)「共生DX」に係る施設や店舗、地域等との連携 理念に賛同、ご協力頂ける施設や店舗、地域等と連携し、そこに『お出かけ』に係るソリューションを多層的に展開。 上記でのフィールドワークを軸に、以下事業を行う。</p> <p>(2)「共生DX」に係る公的機関との連携 (3)「共生DX」に係る当事者団体との連携 (4)「共生DX」に係るサービス提供者との連携 (5)公衆衛生的評価研究機関との連携(QCDだけでなくQOLも評価) (6)シンポジウム等の公開研究会の開催(各年度1回を予定) (7)「共生DX」における、要件や評価のスキームの検討</p> |
|-------------------------|--|

予算

その他特記事項

収入

| 項目 | | 単価 | 数 | 小計 | 年度計 |
|-------------|--------------|--------|----|--------|----------------|
| 初年度 | 本部支援費 | 30,000 | 1 | 30,000 | 114,000 |
| | セミナー参加費（40名） | 1,000 | 40 | 40,000 | |
| | 情報保障費（本部支援） | 44,000 | 1 | 44,000 | |
| 次年度 | 本部支援費 | 30,000 | 1 | 30,000 | 124,000 |
| | セミナー参加費(50名) | 1,000 | 50 | 50,000 | |
| | 情報保障費（本部支援） | 44,000 | 1 | 44,000 | |
| 2年間計 | | | | | 238,000 |

支出

| 項目 | | 単価 | 数 | 小計 | 年度計 |
|---------------|---------------|--------|--------|--------|----------------|
| 初年度 | 会場費 | 10,000 | 1 | 10,000 | 114,000 |
| | 講師謝金(1万円×2名) | 10,000 | 2 | 20,000 | |
| | 講師交通費（2万円×1名） | 20,000 | 1 | 20,000 | |
| | 情報保障費（4時間） | 11,000 | 4 | 44,000 | |
| | （参加費より捻出） | 0 | | | |
| | （本部より支給） | 44,000 | | | |
| | 保育費（4時間） | 2,500 | 4 | 10,000 | |
| | 郵送、通信費 | 5,000 | 1 | 5,000 | |
| | 資料印刷費 | 4,000 | 1 | 4,000 | |
| | 予備費 | 1,000 | 1 | 1,000 | |
| | 次年度 | 会場費 | 15,000 | 1 | |
| 講師謝金（1万円×2名） | | 10,000 | 2 | 20,000 | |
| 講師交通費（2万円×1名） | | 20,000 | 1 | 20,000 | |
| 情報保障費（4時間） | | 11,000 | 4 | 44,000 | |
| （参加費より捻出） | | 0 | | | |
| （本部より支給） | | 44,000 | | | |
| 保育費（4時間） | | 2,500 | 4 | 10,000 | |
| 郵送、通信費 | | 5,000 | 1 | 5,000 | |
| 資料印刷費 | | 5,000 | 1 | 5,000 | |
| 予備費 | | 5,000 | 1 | 5,000 | |
| 2年間計 | | | | | 238,000 |

| | |
|---------------------------------------|--|
| 特別研究委員会名称 | 未来型 UD 戦略特別研究委員会 |
| 新規、継続の種別 | 新規 ○継続 |
| 申請者（委員長） 氏名、所属 | 高橋儀平（東洋大学工業技術研究所） |
| 申請者 住所、電話、 メールアドレス | （自宅） 〒350-0226 埼玉県坂戸市本町 13-29 tgihei@toyo.jp |
| 委員長推薦委員と所属 | 推薦委員 岩城一美：ユニバーサルデザインコーディネーター 大原一興：横浜国立大学 佐藤克志：日本女子大学 菅原麻衣子：東洋大学 鈴木千春：フリーランス 谷本裕香子：東北工業大学 筒井昌美：きた建築設計 原 利明：鹿島建設 ヒラヤマアキヒト：フリーランス オブザーバー委員 ※会員外 尾上浩二：NPO ちゅうぶ 佐藤 聡：DPI 日本会議事務局長 高橋愛実：CIL 星空職員（松山市） 畑俊 彦：自立生活支援センター・てごーす（広島） |
| 公募枠の予定数 | 10名 |
| 応募カテゴリー （該当以外のカテゴリー を削除してください。） | Ⅲ. シンポ・出版展開型（予算上限5万円/年） |
| 研究目的と 主な研究事業 | 今期は前期に引き続き「当事者参画を柱とした新たな UD 戦略」（仮称「当事者参画事典」）をとりまとめ、その成果を土台に全国の当事者、行政、設計者に対するオンラインセミナーを企画する。また積極的に国や地方公共団体と連携を図り、当事者参画のプログラムを提案する。同時に、全国各地の当事者参画事例の情報収集、福祉のまちづくりに関わる大学教育等の実態調査を展開し、新たな UD 技術・手法を研究する。 ・共生社会ホストタウンの当事者参画の追跡調査（継続） ・（仮）当事者参画計画論のとりまとめとセミナー ・移動等円滑化評価会議地域分科会の活動報告（継続） ・福祉のまちづくりにかかわる大学教育等の実態調査 ・各地からの当事者参画状況報告（適宜） ・その他本委員会に関連する調査研究 |

| | |
|----|--|
| 予算 | 2023 年度 【収入】 本部支援費 50,000 円 セミナー参加費 30,000 円×3 回 90,000 円 情報保障費（本部支援）（文字 2 回＋手話 1 回） 72,600 円 計 212,600 円 【支出】 講師謝金 10,000 円×8 名 80,000 円 情報保障費（参加費より） 48,400 円×1 回 48,400 円 情報保障費（本部より） 72,600 円（文字 2 回＋手話 1 回） 72,600 円 郵送、通信費、オンライン決済手数料 8,000 円 資料印刷費 3,600 円 計 212,600 円 2024 年度 【収入】 本部支援費 50,000 円 セミナー参加費 20,000 円×3 回 60,000 円 情報保障費（本部支援）（文字 2 回＋手話通訳 1 回） 72,600 円 計 182,600 円 【支出】 講師謝金 10,000 円×8 名 80,000 円 情報保障費（参加費より） 24,200 円×1 回 24,200 円 情報保障費（本部より） 72,600 円 郵送、通信費、オンライン決済手数料 5,800 円 計 182,600 円 2 年間計（収入） 395,200 円 |
| | その他特記事項 |
| | 情報保障に文字情報＋手話通訳（同時）を 1 回分概算しています。 |